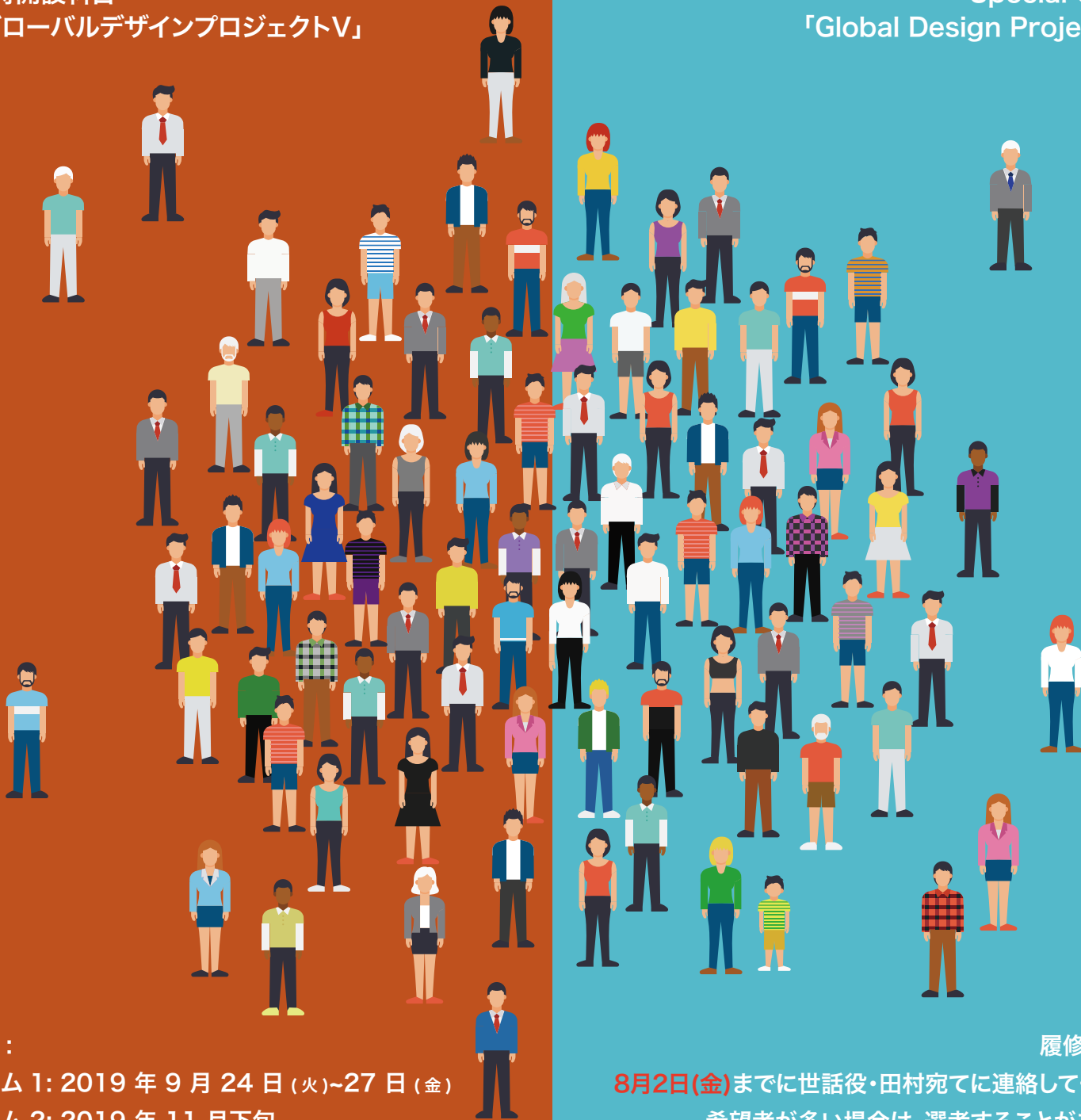


地域共生社会 のための デザイン

臨時開設科目
「グローバルデザインプロジェクトV」

DESIGN FOR CONVIVIAL COMMUNITIES

Special Class
「Global Design Project V」



期間：

ターム 1: 2019 年 9 月 24 日 (火)~27 日 (金)

ターム 2: 2019 年 11 月下旬

ターム 3: 2020 年 2 月 17 日 (月)~21 日 (金)

場所：

九州大学 × 国立成功大学 (台南)

履修希望者：

8月2日(金)までに世話役・田村宛てに連絡してください
希望者が多い場合は、選考することがあります

大学院芸術工学研究院 デザインストラテジー部門
准教授 田村良一
tamura@design.kyushu-u.ac.jp

履修者募集！

2019年度 臨時開設科目「グローバルデザインプロジェクトV」

台湾国立成功大学との共同デザインワークショップ

期 間：ターム1：2019年9月24日（火）～27日（金） @九州大学・大橋キャンパス

ターム2：2019年11月下旬 @国立成功大学（台南／台湾）*

ターム3：2020年2月17日（月）～21日（金） @九州大学・大橋キャンパス

* 渡航費用等に対して若干の補助を予定しています

担 当：九州大学 田村良一、牛尼剛聡、稲村徳州
国立成功大学 Prof. Sheng-Fen Chien, Prof. Chia-Han Yang, Prof. Hsi-Jen Chen

テーマ：Design for convivial communities（地域共生社会のためのデザイン）

単 位：4単位

対 象：学部2年生、3年生、4年生、大学院生の8名程度。留学に興味のある人、外国の大学の授業を受けてみたい人、実践的な国際共同プロジェクトに興味のある人、社会問題やIoT技術に興味のある人を歓迎します。

条 件：・原則として、ターム1～3の全てに参加できること。
・2020年3月卒業・修了予定者は、この授業以外で卒業・修了要件単位を満たしていること。

概 要：学術および学生交流協定校である国立成功大学（台南／台湾）との共同デザインワークショップとして、昨年度に引き続き、臨時開設科目「グローバルデザインプロジェクトV（GDP-V）」として開設するものです。本授業では、日本、台湾の両国のみならず、世界的な社会問題の一つである少子高齢化問題のもと、福岡市・台南市の地域性に着目して、両国で共通・相違する文化、価値観、生活習慣などを相互に理解するとともに、フィールド調査の手法、サービスデザインの手法、デジタルファブリケーションの活用方法などを学びます。また、国立成功大学の教員と学生、九州大学の教員と学生の合同によるグローバルなメンバーのもと、プロジェクトの進め方のノウハウ修得やコミュニケーション能力の向上も目的とします。なお、本授業は、EDGE-NEXTの一環として実施するものです。

参照：2018年度 GDP-V / KID NEXT / <http://www.kidnext.design.kyushu-u.ac.jp/projects/1545?lang=ja>

ワークショップの内容：「Design for convivial communities（地域共生社会のためのデザイン）」をテーマとして、地域住民（主に高齢者）の生活に焦点をあて、IoT技術を活用したサービスデザインを行います。なお、授業は基本的に英語で行います。Keywords：地域共生社会、高齢者、生活の質（Quality of Life）、IoT サービスデザイン、ダブルダイヤモンド、ペルソナ、カスタマージャーニーマップ、シナリオ、ビジネスモデルキャンバス など

ターム1：・オリエンテーション ・関連する調査研究やデザイン手法等の講義

・フィールドワークによる課題の洗い出し ・IoTプロトタイピングツールを用いた演習 など

ターム2：・解決策の絞り込み ・サービスシナリオの作成 ・ムービー制作の演習 など

ターム3：・最終プレゼンテーションおよびフィードバック ・演習のプロセスや最終成果物の取り纏め など

■履修希望者（質問などを含む）

8月2日（金）までに世話役・田村宛てに連絡してください。希望者が多い場合は選考することがあります。

大学院芸術工学研究院 デザインストラテジー部門 准教授 田村良一：tamura@design.kyushu-u.ac.jp

